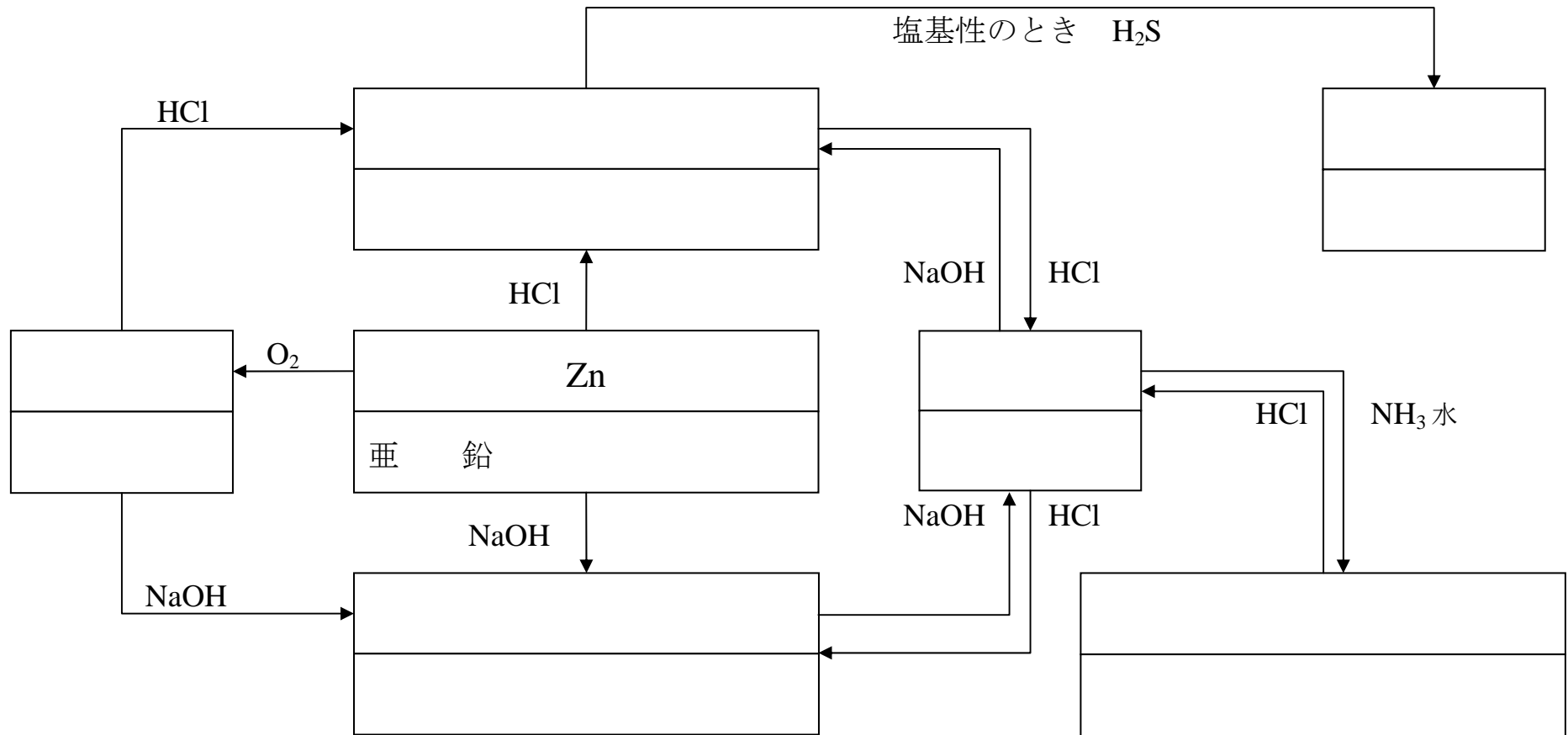
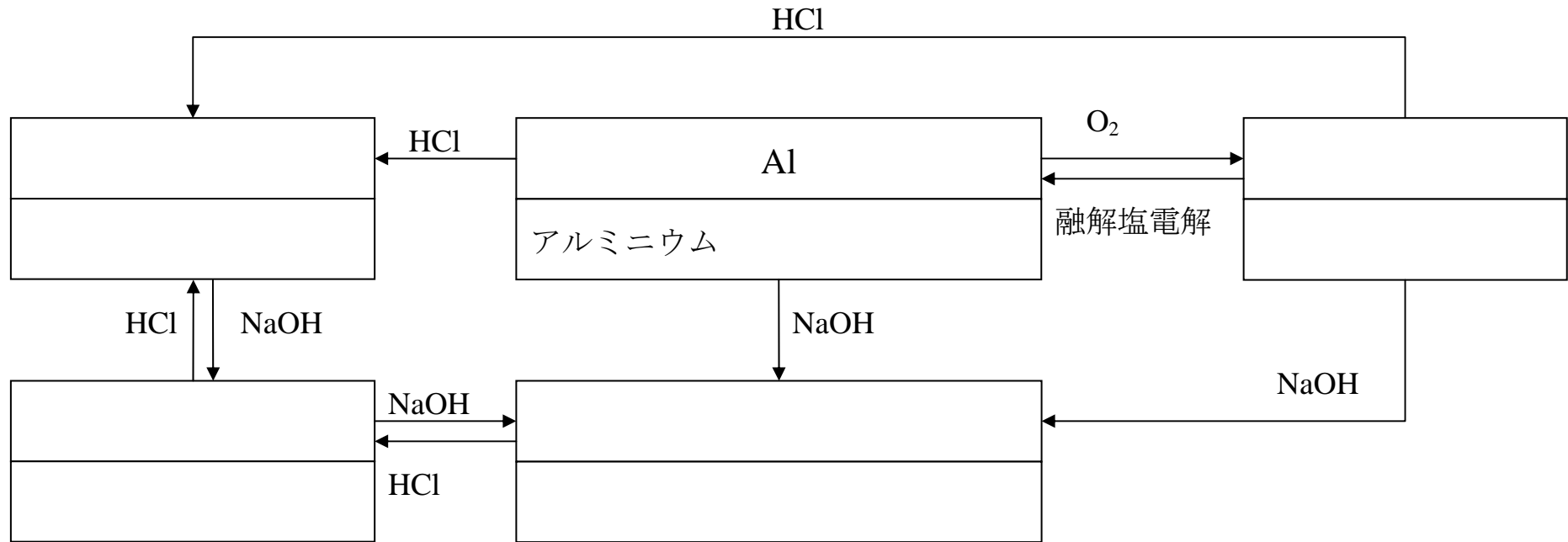


# 両性元素に関する反応(亜鉛)



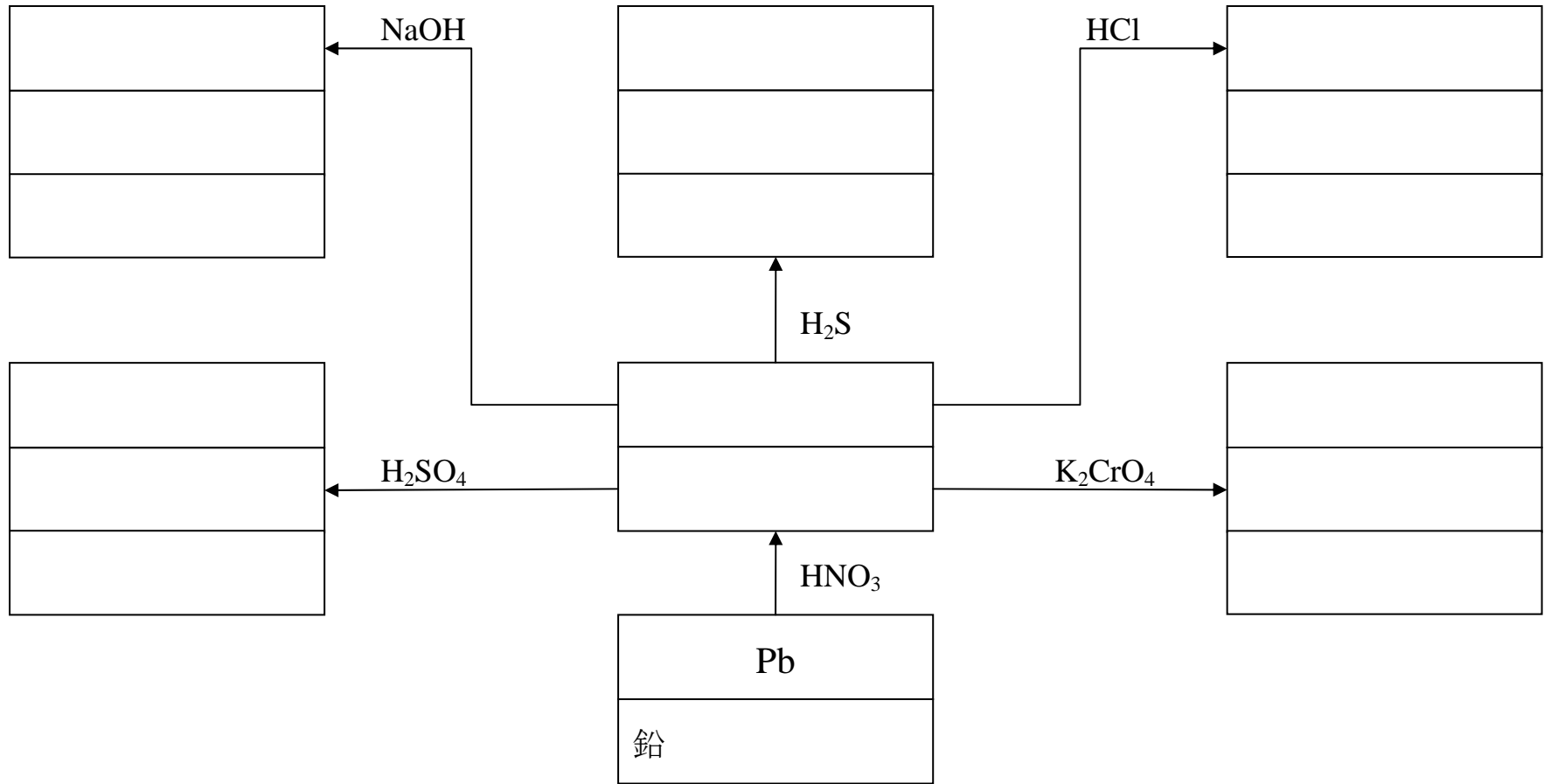
- 亜鉛のメッキをした鋼板を( )という。
- 銅との合金を( )または( )という。
- 酸化亜鉛  $ZnO$  は、( )ともいう。

## 両性元素に関する反応(アルミニウム)



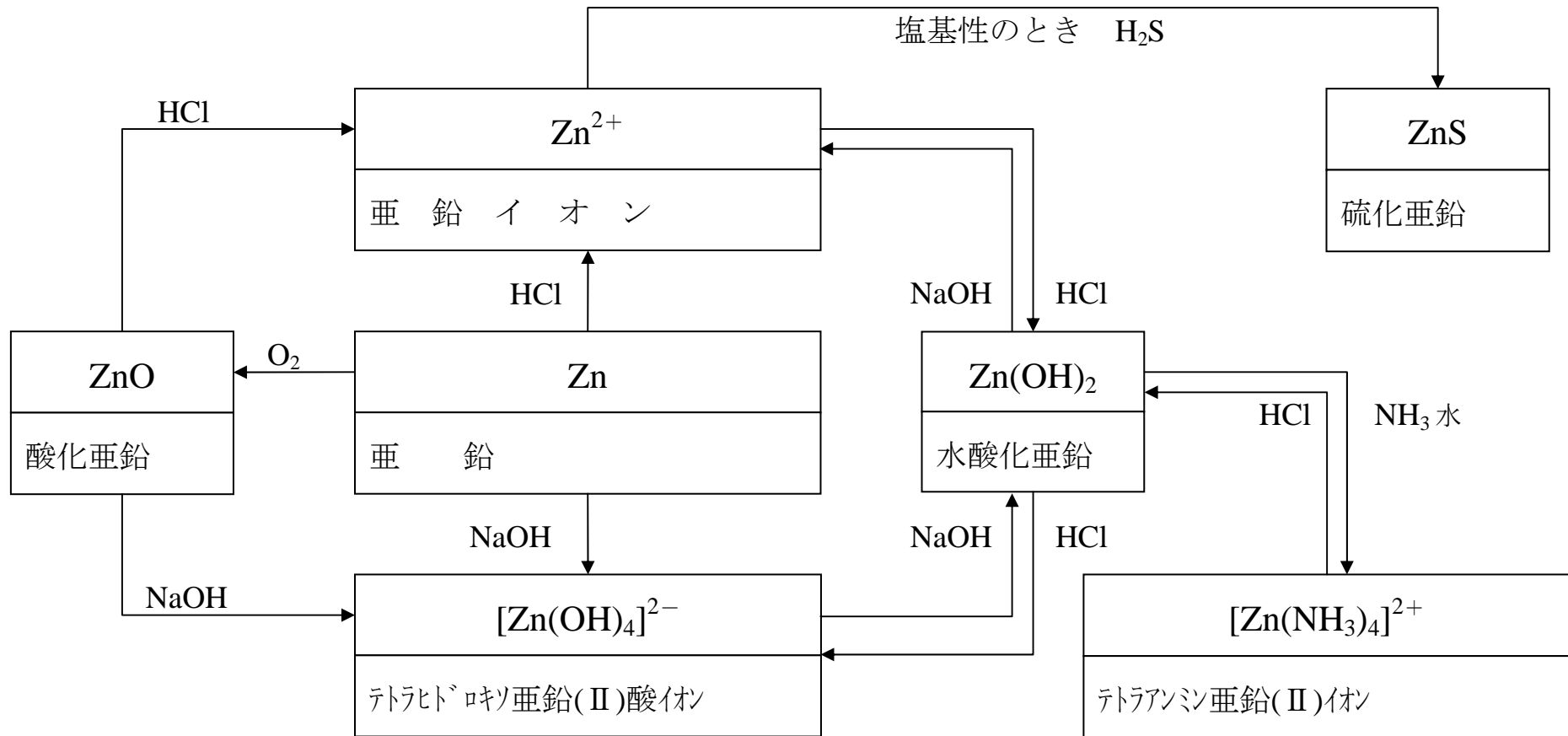
- 酸化アルミニウム  $\text{Al}_2\text{O}_3$  は、( )ともいう。人工的に酸化し、形成した酸化被膜を( )という。
- 鉄やチタンを微量に含む  $\text{Al}_2\text{O}_3$  を( )、クロムを微量に含む  $\text{Al}_2\text{O}_3$  を( )という。
- 銅などとの合金を( )という。
- 濃硝酸や濃硫酸に反応させると、( )をつくり溶けない。

# 両性元素に関する反応(鉛)



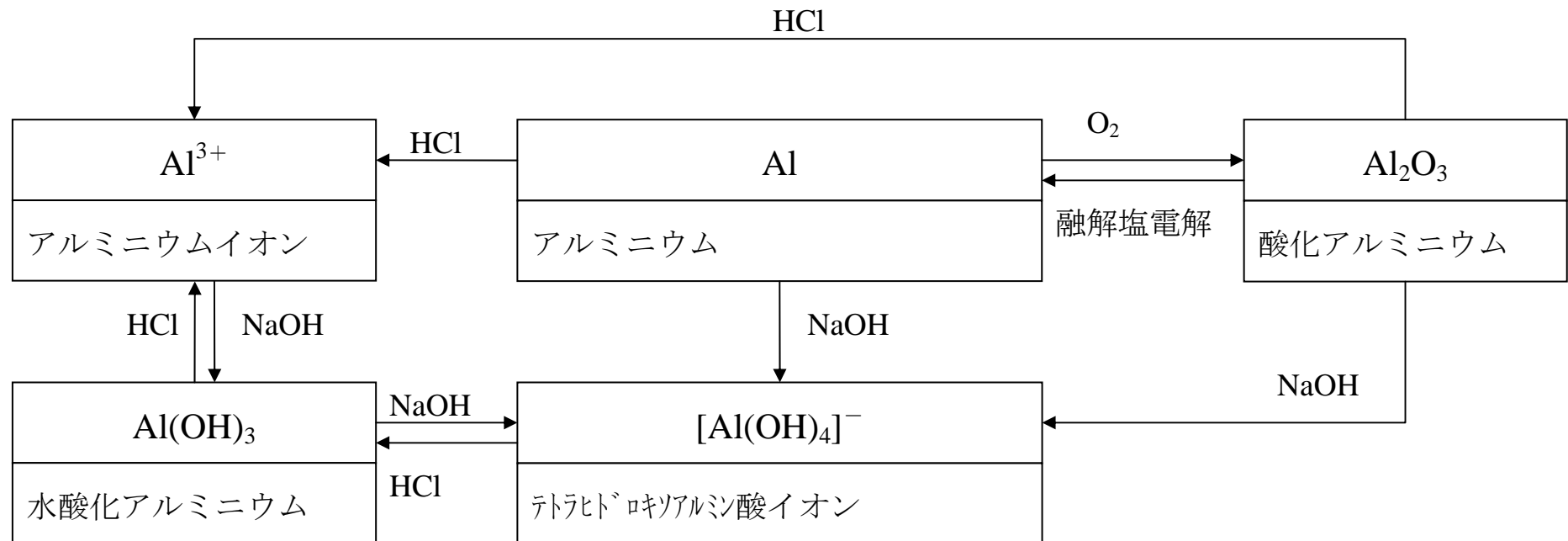
• スズと鉛の合金を( )という。

# 解答 両性元素に関する反応(亜鉛)



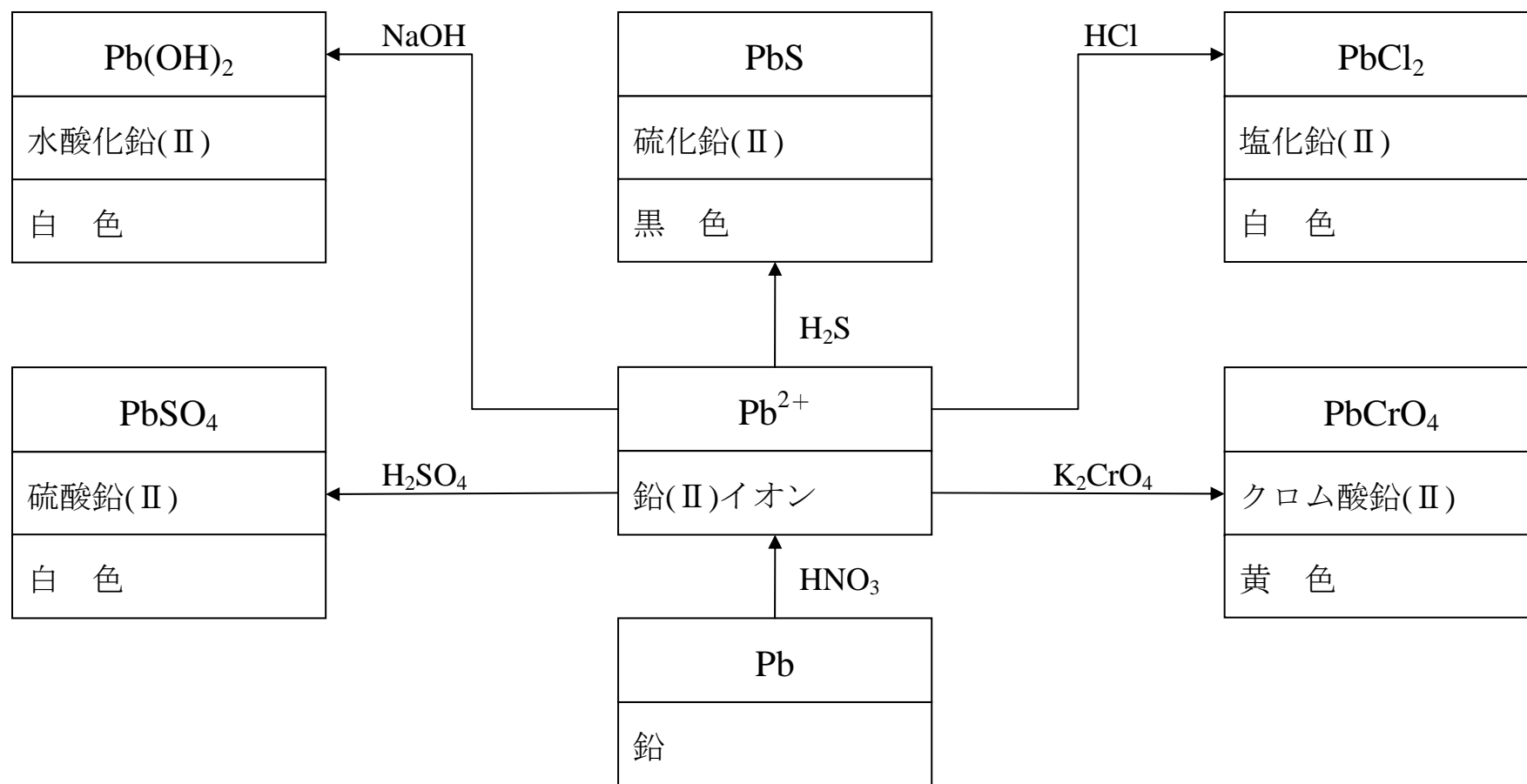
- 亜鉛のメッキをした鋼板をトタンという。
- 銅との合金を黄銅または真鍮(しんちゅう)という。
- 酸化亜鉛 ZnO は、亜鉛華ともいう。

## 解答 両性元素に関する反応(アルミニウム)



- 酸化アルミニウム  $\text{Al}_2\text{O}_3$  は、アルミナともいう。人工的に酸化し、形成した酸化被膜をアルマイトという。
- 鉄やチタンを微量に含む  $\text{Al}_2\text{O}_3$  をサファイア(青玉)、クロムを微量に含む  $\text{Al}_2\text{O}_3$  をルビー(紅玉)という。
- 銅などとの合金をジュラルミンという。
- 濃硝酸や濃硫酸に反応させると、不動態をつくり溶けない。

# 解答 両性元素に関する反応(鉛)



- スズと鉛の合金をハンダという。